

議長(山内和夫) 八番、今博議員の発言を許可いたします。

八番、今議員。

八番(今 博) 新政会の今博であります。

通告に従い質疑を行います。

議案第一号「平成十六年度青森県一般会計補正予算案」について、まず、歳出三款三項五目「青少年対策費」の命を大切にすることを育む県民運動推進事業費について伺いたいします。

この予算は三村知事の肝いりの予算と伺っております。私も、最近の子供が引き起こす数々の凶悪事件、中でも殺人にまで及んでしまう事件について胸を痛めております。

しかも、最近見たテレビ番組の中で、子供たちに対して、友達を殺したくなつたことはあるかとの問いに対し、殺してしまいたくなつたことがあるとの答えが多数あつたことに私は驚いてしまいました。

どうして今の子供はそう思うのか。私は、その原因の一つにパソコンや携帯電話によるメールがあるのではと思っております。メールには音声がなく、声による感情が伝わりません。感情のない会話を繰り返しているうちに、相手をいたわる心がうせてしまったのではと思っております。

言いかえれば、最近の子供たちは電子機器の犠牲になっているのでは思っております。もっと心の通つた、声を通じた会話をさせるべきではないでしょうか。

行政が子供たちの通信手段を制限することはできないと思っておりますが、何らかの形で指導する必要があるのではと思っております。

そこで、次の二点について伺いたいします。

その第一として、命を人切にする心を育む県民運動を行うこととなつたきつかけとこれまでの取り組み状況及び今後の取り組みについて伺います。

第二として、子供たちが情報通信機器の普及によってマイナスの影響を受け

ていると考えられるが、教育委員会の見解をお聞かせください。

次に、歳出四款四項二目「医務費」の救急救命士病院実習受入促進事業費補助について伺います。

平成三年に救急救命士の制度が新設されてから、これまでの間、徐々にではありますが救命率が向上していることは喜ばしいことでもあります。

しかし、十数年が経過し、秋田県における救急救命士の気管挿管問題に端を発し、救急救命士が実施できる救命処置の範囲についての議論が全国的に高まり、救急救命士の数の充実はもちろん、この制度自体の根本的な見直しも求められておりました。

現在の救急救療においては、救急救命士の果たす役割が一番大きいのではないのでしょうか。

今回、必要な講習や実習を修了した救急救命士であれば、これまでできなかった気管内チューブによる気道確保が実施できることとなつたことにより、これまで助けられなかった県民の命を助けられる状況となつたことは非常に喜ばしく思っております。

そこでお尋ねいたします。気管内チューブによる気道確保を実施できる救急救命士が本県でも二名認定されたと聞いておりますが、一つ、今回の病院実習はどういう内容なのか、二つ目に、本県における気管内チューブによる気道確保を実施できる救急救命士認定状況は他県と比較してどうなのか、さらに、救急救命士が実施できる救急救命処置は今後さらに拡大される予定はあるのかお聞かせいただきたいと思ひます。

最後に、追加提案された議案第二十九号「平成十六年度青森県一般会計補正予算(第一号)案」、台風による災害対策関連についてであります。

まず、そのうち、歳出六款二項二目「りんご生産対策費」について伺いたします。

九月八日未明に本県に最接近した台風十八号により、県内では総額百六十五

億円余りの被告に見舞われました。

特に、収穫を目前にし、平成三年の台風十九号による災害以来最大の被害を受けたリンゴ農家の皆さんの心情を察すると、無念でなりません。このたびの重なる台風により被災されました方々には心からお見舞い申し上げますと思います。

しかし、本県は百二十年余りの歴史を誇るリンゴ王国であり、このような台風災害に負けることがあってはならないのです。

県におかれまして、台風によるリンゴの落下に備え、生食可能なつがるなどのわせ種リンゴの特別販売のために新たな仕組みに取り組んだことは迅速、適切であり、敬意を表するところであります。

そこで、まず、追加提案されたりんご病害特別緊急防除対策事業について、具体的にどのように進めていくのか伺いたします。

次に、歳出六款四項五目「土地改良事業費」及び歳出六款四項六目「農村整備費」について伺いたします。

本県農家は、昨年の冷害、ことしの台風と二年連続で打撃を受け、今後の先行きに大きな不安を抱えており、農家経営の早急な安定が望まれるところであります。このためには、被災農家の所得確保と、今後の農家経営の安定につながるような就労の場を確保していくことが必要だと考えるのであります。

そこでお伺いたします。追加提案された農業農村整備事業の緊急就労対策の内容はどうなっているのかお尋ねいたします。

以上でございます。

議長(山内和夫) 環境生活部長。

環境生活部長(高坂亨) 命を大切にすることを育む県民運動を行うこととなつたきっかけ、これまでの取り組み状況、今後の取り組みについてお答えしたいと思います。

命を大切にすることを育む県民運動は、先般の長崎県佐世保市の小学生による同級生殺害事件を初め、子供たちをめぐる痛ましい事件が全国的に多発し、とうとう命が失われていることから、このような事件を青森県では断じて起こしてはならないという思いから、次世代を担う子供たちが、命を大切に、他人への思いやりを持ち、たくましく健やかに生きていくよう、「ひとつのいのち。みんなのだいじないのち。」をキャッチフレーズに、県民一体となり、命の大切さを子供たちに訴えるものでございます。

この運動のこれまでの取り組み状況でございますが、県では、六月二十五日に、知事を本部長とする命を大切にすることを育む県民運動庁内推進本部を設置しました。

また、青森県全体の運動として推進していくため、八月十一日には命を大切にすることを育む県民運動推進会議を設立し、同日、広く県民にこの運動を周知するため、命を大切にすることを育む県民運動推進大会を開催いたしました。この大会には約千三百名もの県民の皆様にご参加いただき、推進会議も現在、七百五十三の民間団体や関係機関が会員になっております。

今後とも、保育所、幼稚園、学校、家庭、地域、企業、団体、そして行政などが、それぞれの立場で、先ほどのキャッチフレーズや命の大切さを伝えるメッセージの発信、命の大切さを考える機会の提供や命を大切にすることを育む活動を展開してまいります。

この運動が県全体に広がり、長崎県佐世保市の被害者や御家族のよう思いをすることのない社会になってほしいと願っております。議員各位におかれましては、御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、県といたしましても、この運動を推進するための普及啓発等に要する経費について、本議会で御審議をいただいているところでございます。

以上でございます。

議長(山内和夫) 健康福祉部長。

健康福祉部長（北窓隆子） 三点についてお答えいたします。

まず、救急救命士の病院実習の内容についてですが、病院実習は、一定の要件を満たす病院で、麻酔科医の指導監督のもとに、救急救命士が器具を使って患者の気管内にチューブを挿入し気道を確保する実習を三十床例について行うものです。

対象患者は、全身麻酔手術を受ける方の中から選定されるものですが、あらかじめ病院の麻酔科医と救急救命士と一緒に説明し、実習について同意を得ることとなっております。

なお、一名の患者について気管挿管の試行は一回までと定められています。次に、本県における気管内チューブによる気道確保を実施できる救急救命士の認定状況は他県と比較してどうかについてですが、他県の認定状況につきましては、全国の状況について現在、国において調査中でございます。

北海道・東北地区における病院実習修了者の状況を調査いたしますと、九月三十日現在で、北海道七名、秋田県二名、宮城県五名、山形県十二名であります。

また、岩手県及び福島県については、病院実習がまだ開始されていないため、ゼロ名となっております。

したがって、本県は二名でございますので、北海道・東北地区においては中に位置していると評価しています。

最後に、救急救命士が行うことができる救急救命処置の今後の拡大はどのような予定かについてでございますが、救急救命士が実施できる救急救命処置の拡大については、平成十五年四月より心臓への除細動が医師の指示なしで可能となったことに加え、平成十六年七月一日からは、必要な講習と実習を修了した救急救命士については、医師の指示があれば気管内チューブによる気道確保ができることとなったものです。

また、救急救命士の薬剤投与が検討されてきており、一定の講義、実習等を

修了した救急救命士は、医師の指示があれば、強心剤エピネフリンの投与が平成十八年四月を目途に実施される予定となっているというふうに承知しております。

議長（山内和夫） 農林水産部長。

農林水産部長（一戸洋次） 初めに、りんご病害特別緊急防除対策事業についてお答えいたします。

本事業は、台風第十八号の強風によるりんご樹の幹や枝の損傷、さらにはつる折れなどで、りんご樹そのものに致命的な打撃を与える腐乱病の感染危険度が、風激に高まっていることから、その多発を未然に防止するための特別防除に対して助成するものであります。

今後の進め方としては、市町村の協力をいただきながら、台風の被害程度が高く、共同防除組織による防除が可能とされる地域を中心に、防除効果が高いとされる収穫後の薬剤散布を行い、健全なりんご産地の維持と農家の生産意欲の向上を図ってまいります。

次に、農業農村整備事業の緊急就労対策についてであります。

本体策の内容は、被災された農業者救済のため、緊急農地集積ほ場整備事業や団体営農業集落排水事業など五事業の十一畜で、水田の小型水路や農業集落排水の地下埋設管の敷設、小規模農道の敷き砂利といった人力を主体とした工事を行うもので、被災農業者を優先的に雇用することとしております。

また、農業農村整備事業に係る既決予算のうち約二十八億円（後刻二十六億円に訂正）相当分についても被災農業者を優先とした緊急就労対策として取り組むこととし、今回計上した緊急就労対策とあわせ、約二万一千人の就労機会の確保に努めてまいります。

今後は、一連の緊急就労対策の内容について、市町村や土地改良区などの関係機関と連携を図るほか、県のホームページなどに掲載し、被災農業者に対し周知徹底を図ってまいります。

以上でございます。

議長(山内和夫) 農林水産部長。

農林水産部長(一戸洋次) 大変失礼いたしました。

既決予算の農業農村整備事業に係る予算ですが、約二十八億と言いましたが、二十六億円ということでありますので、おわびして訂正させていただきます。

議長(山内和夫) 教育長。

教育長(花田隆則) 今議員からのご質問、青少年対策費に関しまして、子供たちが情報通信機器の普及によってマイナスの影響を受けていると考えられるが、このことについての見解についてお答えいたします。

最近の子供たちの問題行動には、情報化等に伴い、さまざまな実体験をする機会の減少、情報通信機器の普及によるコミュニケーション手段の変容や情報のはらんなど、子供たちを取り巻く社会状況が、発達段階にある子供の人格形成に影響を及ぼしているのではないかと考えられます。

長崎県の事件の背景等は定かではございませんが、長崎家庭裁判所佐世保支部の加害女子児童に対する最終審判の決定要旨には、現在も命を奪ったことの重大性や家族の悲しみを実感できないでいる、また、交換ノートやインターネットが、唯一、安心して自己を表現し、存在感を確認できる居場所になっていたなどが述べられているところでございます。

このようなことも踏まえ、子供たちの発達段階に応じて、他者の痛みを理解する優しさ、思いやりなど豊かな心をはぐくみ、また、コミュニケーション能力の育成及びインターネットや電子メール等を使う際のマナーや相手への配慮などの教育を推進することが大切であります。

今後とも、命を大切にすることをはぐくむとともに、情報モラルの育成など、豊かな人間性の育成に努めてまいります。

以上であります。

議長(山内和夫) 八番、今議員。

八番(今 博)

二点ほど要望を申し上げたいと思います、知事もおいででございますので、命を大切にすることを育む県民運動についてであります、八月十一日には、ぱ・る・るプラザ青森で命を大切にすることを育む県民運動推進大会がございまして、知事も御出席されまして、涙ながらに、命の大切さを感じ、御発言されたようでございます。

十月二日、四日新聞記事にも命の大切さが掲載されておりました。長崎県の小学校六年生事件が残したものとということで、内容は、家庭裁判所は、この事件を、交換日記やインターネット上のやりとりでばかにされたように感じたことを動機と認定しました。だれもが悲劇の主役になる可能性を訴え、悲劇を少しでも防ぐためになにができるか。まずは、子どもの内面を注意深く観察し、地道に問題を改善して行くことだろう」と報道しておりました。今回の県民運動で、身近にいる親の意識や、あるいは地域社会が改めて命の大切さを考えるよいきっかけになればと望んでおります。

それからもう一つ、救急救命士病院実習受入促進事業のことについてでございますが、きょうも各議員の方々からご質問がございまして、とにかく、県内の十六消防本部に一日も早く気管内チューブによる気道確保を実施できる救急救命士を配置していただくように強く要望したいと思います。

そのためにも、通常の消防署勤務との兼ね合いもありますので、できるだけ近くに、積極的に実習の受け入れに取り組んでもらえる救急医療病院がふえるように県にお願したいと思えます。

もし救える命が合ったら救ってあげたい、あらゆる手段を講じて救うのが人としての心、責務であると思えます。

最後に、私たちの使命は青森県民百四十五万人の命と財産を守ることであり、私はいつも、命の大切さを農林水産業の振興に例えております。農林水産業の振興、発展なくして国づくり、ふるさとづくり、人づくりなしと。

農林水産業は命を生みます。命を育てます。そして、命のとうとき、大切さを教えてくれるんです。

県におかれましては、県勢発展のため、このことをしっかりと心に刻み、日々  
の精進を重ねていただきたいと思います。  
以上であります。